

コーポレート・ハイブリッド証券 ファンド2016-03 (為替ヘッジあり)Ⅱ (愛称：メジャー・カンパニーズ16-03Ⅱ)

運用報告書(全体版) 満期償還

(償還日 2020年3月17日)
(作成対象期間 2019年9月18日～2020年3月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	約4年間（2016年3月31日～2020年3月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>の受益証券
	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受利益 回り	公社債 組入比率	元残 存本率
	(分配落)	税金 込み	期騰 落	期中 騰落			
設定 (2016年3月31日)	円 10,000	円 —	円 —	円 —	% —	% —	% 100.0
1期末 (2016年9月20日)	10,220	110	330	3.3	6.9	106.2	87.0
2期末 (2017年3月17日)	10,257	110	147	1.4	4.9	94.4	54.6
3期末 (2017年9月19日)	10,377	80	200	1.9	4.6	96.7	33.4
4期末 (2018年3月19日)	10,349	50	22	0.2	3.5	94.8	27.1
5期末 (2018年9月18日)	10,281	45	△ 23	△ 0.2	2.7	93.7	23.7
6期末 (2019年3月18日)	10,256	45	20	0.2	2.3	92.1	22.1
7期末 (2019年9月17日)	10,182	45	△ 29	△ 0.3	1.9	49.2	17.4
償還 (2020年3月17日)	10,133.45	—	△ 48.55	△ 0.5	1.6	—	15.6

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

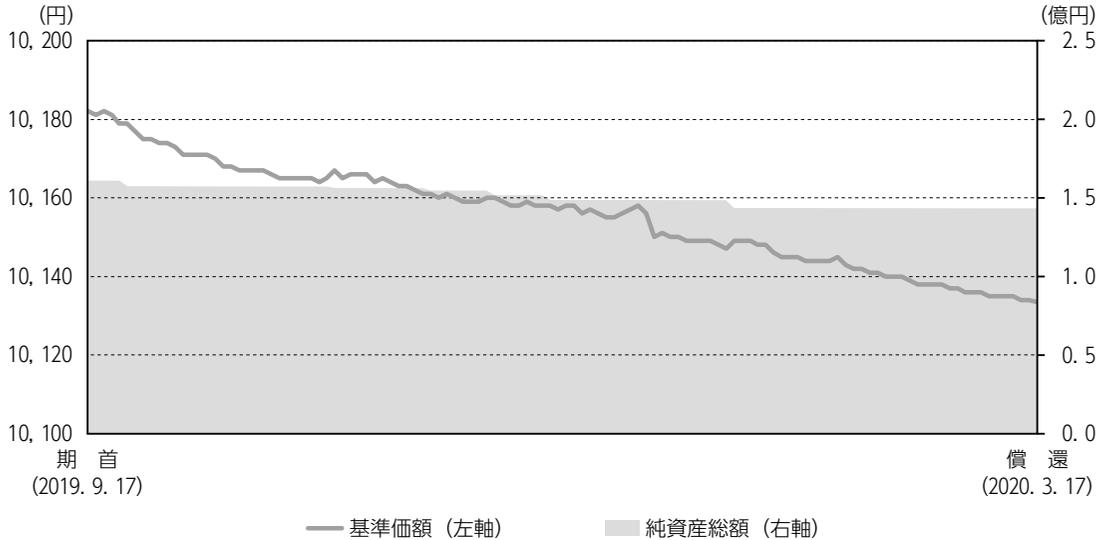
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：10,133円45銭 (既払分配金485円)

騰落率：6.2% (分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、ハイブリッド証券等の金利収入を主因として基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03（為替ヘッジあり）Ⅱ

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比
	円	騰 落 率 %	
(期首) 2019年 9月17日	10,182	—	49.2
9月末	10,175	△ 0.1	49.9
10月末	10,164	△ 0.2	40.9
11月末	10,159	△ 0.2	31.6
12月末	10,156	△ 0.3	33.3
2020年 1月末	10,145	△ 0.4	11.0
2月末	10,138	△ 0.4	—
(償還) 2020年 3月17日	10,133.45	△ 0.5	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2016. 3. 31 ～ 2020. 3. 17）

■コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市場は上昇しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、当ファンド設定時から、欧州大手銀行に対する信用懸念やドイツ国債の金利上昇の影響などから一時的に下落する局面がありましたが、2016年6月にECB（欧州中央銀行）が実施した資産購入プログラムの効果や欧州各国の国債金利が低位で安定推移したことで、コーポレート・ハイブリッド証券の投資魅力が相対的に評価されたことなどから、2017年10月までは堅調に推移しました。11月から2018年10月までは、トルコの対米関係悪化などの地政学リスクが意識されたことや、株価が下落しリスク回避機運が高まったことなどから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は緩やかに下落しました。11月以降も、世界景気の減速懸念が高まったことや英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感の高まりにより、さらに下落しました。その後は、景気減速懸念の高まりを受けて世界的に国債金利が低下したことや株価の反発によりリスク回避機運が後退したことから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。償還時にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、反落しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド《2020-03》」の受益証券組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行います。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド《2020-03》

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

信託期間中のポートフォリオについて

(2016. 3. 31 ~ 2020. 3. 17)

■当ファンド

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の受益証券組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行いました。

マザーファンドが保有するコーポレート・ハイブリッド証券は予想通りに繰上償還が進みましたが、2019年4月以降、コーポレート・ハイブリッド証券が満期もしくは繰上償還した後の再投資において諸コスト控除後の収益を確保できる投資対象が限られたため、マザーファンドの組入比率を徐々に引き下げ、現金比率を徐々に高めました。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

主として、世界の企業が発行するコーポレート・ハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第1期～第2期各110円、第3期80円、第4期50円、第5期～第7期各45円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 18~2020. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	37円	0.364%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,156円です。
(投 信 会 社)	(2)	(0.019)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.328)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	37	0.369	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

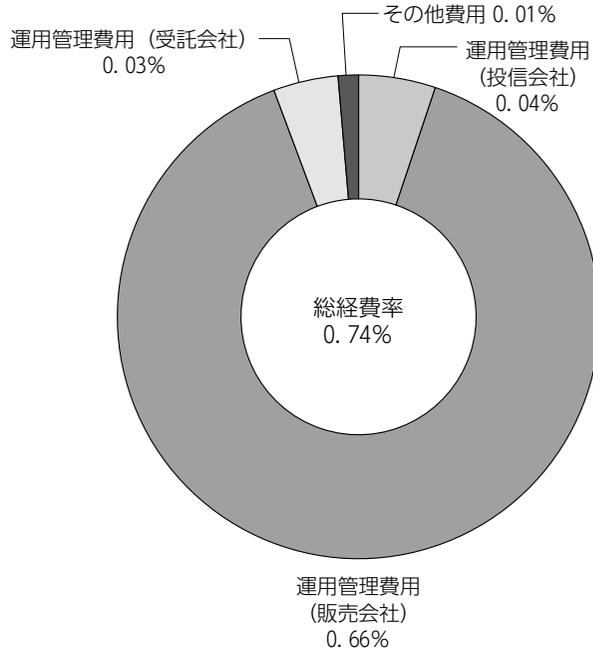
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.74%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03（為替ヘッジあり）II

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月18日から2020年3月17日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	—	—	88,353	96,345

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
	千口
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	88,353

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月17日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	144,040	100.0
投資信託財産総額	144,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月17日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	144,040,076円
コール・ローン等	144,040,076
(B) 負債	711,371
未払信託報酬	711,066
未払利息	305
(C) 純資産総額 (A - B)	143,328,705
元本	141,441,150
償還差損益金	1,887,555
(D) 受益権総口数	141,441,150口
1万口当り償還価額 (C/D)	10,133円45銭

* 償還時の計算口数当りの純資産額は10,133円45銭です。

■損益の状況

当期 自2019年9月18日 至2020年3月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 22,864円
受取利息	376
支払利息	△ 23,240
(B) 有価証券売買損益	6,465,352
売買益	9,630,434
売買損	△ 3,165,082
(C) 有価証券評価差損益	△ 6,464,632
(D) 信託報酬等	△ 748,660
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 770,804
(F) 前期繰越損益金	2,874,537
(G) 解約差損益金	△ 216,178
(H) 合計 (E + F + G)	1,887,555
償還差損益金 (H)	1,887,555

- (注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。
(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：93,166円（未監査）

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年3月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年3月17日		資産総額	144,040,076円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	711,371円
				純資産総額	143,328,705円
受益権口数	906,072,196口	141,441,150口	△ 764,631,046口	受益権口数	141,441,150口
元本額	906,072,196円	141,441,150円	△ 764,631,046円	1単位当り償還金	10,133円45銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
第1期	円 788,609,392	円 805,964,410	円 10,220	円 110	% 1.10
第2期	495,500,531	508,245,743	10,257	110	1.10
第3期	303,212,029	314,646,846	10,377	80	0.80
第4期	246,340,448	254,927,937	10,349	50	0.50
第5期	215,387,429	221,448,787	10,281	45	0.45
第6期	200,410,917	205,544,770	10,256	45	0.45
第7期	158,081,718	160,956,255	10,182	45	0.45
信託期間中1単位当り総収益金および年平均収益率				618円45銭	1.56%

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ

1万口当り償還金

10,133円45銭

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

運用報告書 繰上償還 (償還日 2020年3月16日)

(作成対象期間 2019年9月18日～2020年3月16日)

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
株式組入制限	無制限

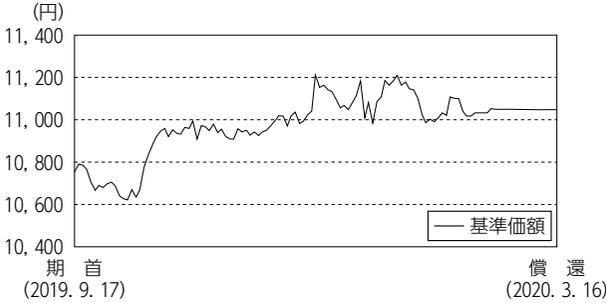
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	騰落率		
(期首) 2019年9月17日	円	%	%
9月末	10,699	△ 0.5	95.0
10月末	10,995	2.2	95.1
11月末	10,994	2.2	94.2
12月末	11,184	4.0	93.8
2020年1月末	11,008	2.4	36.0
2月末	11,051	2.8	—
(償還) 2020年3月16日	11,048.89	2.7	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 償還時：11,048円89銭 騰落率：10.5%

【基準価額の主な変動要因】

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、為替市場で主要通貨に対して円高が進行したことはマイナス要因となりましたが、ハイブリッド証券等の金利収入を主因として基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆設定以来の投資環境について

○コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市場は上昇しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、当ファンド設定時から、欧州大手銀行に対する信用懸念やドイツ国債の金利上昇の影響などから一時的に下落する局面がありましたが、2016年6月にECB(欧州中央銀行)が実施した資産購入プログラムの効果や欧州各国の国債金利が低位で安定推移したことで、コーポレート・ハイブリッド証券の投資魅力が相対的に評価されたことなどから、2017年10月までは堅調に推移しました。11月から2018年10月までは、トルコの対米関係悪化などの地政学リスクが意識されたことや、株価が

下落しリスク回避機運が高まったことなどから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は緩やかに下落しました。11月以降も、世界景気の減速懸念が高まったことや英国のEU(欧州連合)離脱をめぐる不透明感の高まりにより、さらに下落しました。その後は、景気減速懸念の高まりを受けて世界的に国債金利が低下したことや株価の反発によりリスク回避機運が後退したことから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。償還時にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、反落しました。

○為替相場

主要通貨に対して総じて円高が進行しました。

当ファンド設定時より2016年8月までは、中国や新興国の景気悪化懸念や、米国景気の不透明感等を背景にリスク回避の姿勢が高まり、大幅な円高が進行しました。11月にトランプ氏が米国大統領選挙に勝利すると、市場の想定外であったことから、米国長期金利の上昇とともに円売り圧力が強まりました。2017年以降は、米国の段階的な利上げが緩やかなペースにとどまったことや、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和などにより、円の下落幅は限定され、償還時の主要通貨は設定時と比べて円高となりました。

◆信託期間中の運用方針

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

◆信託期間中のポートフォリオについて

主として、世界の企業が発行するコーポレート・ハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

		買付額		売付額	
		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外 国	アメリカ	社債券	—	—	(3,880)
	イギリス	社債券	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	(700)
	ユーロ (フランス)	社債券	千ユーロ	千ユーロ	(2,967)
	ユーロ (イタリア)	社債券	千ユーロ	千ユーロ	(1,000)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	社債券	千ユーロ	千ユーロ	(3,967)

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年3月16日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	77,561	100.0
投資信託財産総額	77,561	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月16日現在

項 目	償 還 時
(A)資産	77,561,317円
コール・ローン等	77,561,317
(B)負債	200
未払利息	200
(C)純資産総額(A-B)	77,561,117
元本	70,198,126
償還差損益金	7,362,991
(D)受益権総口数	70,198,126口
1万口当り償還価額(C/D)	11,048円89銭

- *期首における元本額は1,113,638,852円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,043,440,726円です。
 *償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)15,806,650円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)Ⅱ6,366,195円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり)48,025,281円です。
 *償還時の計算口数当りの純資産額は11,048円89銭です。

■損益の状況

当期 自2019年9月18日 至2020年3月16日

項 目	当 期
(A)配当等収益	13,051,356円
受取利息	13,172,861
支払利息	△ 121,505
(B)有価証券売買損益	3,796,549
売買益	15,452,601
売買損	△ 11,656,052
(C)その他費用	△ 103,781
(D)当期損益金(A+B+C)	16,744,124
(E)前期繰越損益金	83,978,141
(F)解約差損益金	△ 93,359,274
(G)合計(D+E+F)	7,362,991
償還差損益金(G)	7,362,991

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。